

# しまなみロード ～瀬戸内の風に吹かれて～

8月18日(月) ～ 8月21日(木)

IN しまなみ海道～大浜崎キャンプ場、しまなみふれあい交流館～

	午前	午後	夜
1日目	尾道に向けて出発	向島へ出発、因島へ出発	振り返り
2日目	生口島へ出発	大三島へ出発、買い出し	振り返り
3日目	今治市へ出発	今治市内散策	フェリー乗船、振り返り
4日目	関西に到着・解散		

**一日目：** 広島県尾道市から愛媛県今治市まで瀬戸内の島々を渡りながら走る『しまなみ海道』。そこを3日間かけて走るキャンプが始まりました。尾道に集合したのち、電車に揺られること約5時間、電車はもう飽きたと思った頃に尾道に到着しました。尾道駅前にてお弁当を食べ、自転車を借りに向かいました。自分に合った自転車を選び、サドルの高さやヘルメットのあご紐調節、走りやすいように調整をしました。走り方の基本説明を受け、本番の時間がやってきました。第一の島、「向島」へは尾道から渡船で渡り、スタートしました。普段から自転車に乗っているため、順調に運転出来ているかと思いきや、チェーンが外れるアクシデントが!? なんとか修復し、進めると安心した束の間、今度は雨が降り、雷が鳴り出しました。開始早々、様々なトラブルや問題が起っています。走っている事が楽しいのでしょう、皆、笑顔でした。大きな橋を渡る時は橋下を移動するので、大興奮でした。第二の島、『因島』に渡り、本日の宿泊場所に到着しました。到着し、荷物の搬入を行いました。自分たちの荷物を一生懸命に運び入れ、寝袋の準備をし、晩御飯を食べました。食後は、振り返りとして絵日記を書きました。今日楽しんだこと、頑張ったこと、協力したことを書き、更に明日の未来日記も作成しました。みんなは未来日記通りに走ることが出来るのでしょうか？



**二日目：** 昨日から続いているしまなみ海道走覇の旅。目覚めは最高の朝日からスタートしました。朝食はオープンサンドを食べました。好きな具材を好きなだけパンに挟み、美味しくいっぱい広げて頬張っておられました。中には、自転車の為に少し無理をしても食べている姿も伺えました。朝食後はテントを片付け、荷物を運び出し、お世話になったキャンプ場をキレイさっぱりした後、再び自転車に乗り、走り出しました。昨日走っているだけに難なく走れていましたが、まさかのパンクラッシュ!! あっちらからもこっちからもパンクの救援がありました。それでも皆は元気で、遅れたグループは時間を取り戻そうと必死にこぎました。今日から昼食、夕食は各グループで好きな物を食べ、済ますという形を取りました。お昼から、太陽の照り付けはより一層激しさを増し、汗が滝のように流れている状況でも一生懸命に走りました。因島から、第三の島『生口島』に渡り、島を横断し、第四の島『大三島』に到着しました。施設に向かう途中、夕飯を購入するために、スーパーに寄りました。お小遣いとして、今日の昼食、夕食、明日の昼食、夕食代をまとめてもらったので、明日豪華にいくために少し節約しているグループもあれば、現地の海の幸をふんだんに食べているグループもあり、グループごとの考えが見られました。夕食頃から眠たそうなメンバーがおられ、今日はゆっくり寝て欲しいのですが、頑張っておき明日の絵日記を仕上げてもらいました。昨日よりも内容が明確で深く、グループとしてまとまった意見が出ていました。



**三日目：** 朝から出発に向けて、部屋の片付け、荷物の整理を済ませ、早々に出発しました。大三島を出発し、第五の島『伯方島』へ渡り、どのグループも勢い良く最後の島『大島』へ渡りました。自転車に乗るのは慣れたものですが、日数が重なり疲労も蓄積し、その結果、会話にトゲが見られ、あたりが強くなり、揉め事が増えてきました。その度に話し合い、自分達の目的を確認されていました。不注意から小さなケガが見られましたが、長い上り坂も、長い海峡大橋も、グループを意識し、頑張っておりました。今までに渡ってきた橋よりも『来島海峡大橋』は桁違いに長く、「まだ～？」と驚いておられました。海峡大橋を渡り、四国本島に渡り、そしてついにゴール『今治駅』に到着しました。緊張の糸が切れたのか、ここにきてドッと疲れが出てきたようです。それと同時に達成感もあり、表情がとても喜ばしかったです。今治市に到着し、市内散策を行いました。今治タオルや今治城、お土産を購入するために、様々な目的をもって走り回りました。夕食は、市内で各自済ませてもらいました。自分達で決めた夕食を堪能されていました。夜になり、関西に帰る時間がやってきました。3日間お世話になった自転車を返却し、フェリー乗り場までバスで移動しました。フェリー乗り場に到着し、乗船するフェリーの大きさにビックリ、船内の豪華さにビックリ、興奮されていました。荷物を置き、風呂に入って、残りの振り返りを済ますすぐに寝られました。朝起きるとそこは関西です。



**四日目：** 朝の起床は船内アナウンスでした。それと同時に関西に帰ってきました。慣れた手つきで、着替えと荷造りを済まし、あっという間に部屋を出られる用意が完了している皆の姿がありました。この短い期間で、本当に成長されたと思います。フェリーを出発し、乗り物を何度か乗り継いで無事に尾道に帰ってきました。出発前の姿と帰ってきた姿とは、肌の色は皆小麦色に焼け、表情はやりきった自信に満ち溢れていました。お迎えに来ていただいた親御さんも皆さんの変わり具合に驚かされていました。キャンプ中、共に苦楽を味わった友達とお別れの時がやってきました。また来年、是非来てください! 皆さんを心よりお待ちしております。



## <キャンプ総括>

淡路島に次ぐ自転車プログラム。淡路島と違うのは、『低学年』の参加を認めている為、体力的、精神的心配がありました。一泊二日のキャンプでさえ低学年にとって大冒険なので、三泊四日の長期間を耐えられるのか?と、正直不安でした。しかし、その心配は一掃されました。高学年に負けない勢いで、誰一人弱音を吐くことなく走り続けられました。低学年メンバーを完全に侮っていました。何故かと考えた時、皆の心に走りきる『覚悟』があったからだと思います。高学年もその覚悟から自分の事だけではなく、グループの事を考えられていました。大人が子どもの限界を勝手に決め付け、抑えていると感じました。もっとメンバーの力を引き出し、存分に発揮できる環境を提供できるキャンプを企画していきます。本人が出来るところまで、そしてその限界を突破した時、大きな成長を感じられると、参加者皆さんから教えていただきました。(竹中 哲郎)